



玖珠



全国高校総体 出場決定！

6月19日に鹿児島県立川薩清修館高等学校との3位決定戦を行い、1対0にて勝利しました。高校総体は山形県川西町にて行われました。
(期間：7月29日～8月2日)

もくじ

議会構成が決まりました	2 P
6月議会で決まったこと	3 P
委員会報告	4 P
特別委員会報告	6 P
議案撤回	7 P
議員と住民との意見交換会	8 P
一般質問	10 P
合同防災訓練	13 P
U・I・Jターン者の声	14 P

議会構成が決まりました

議長

副議長

委員会構成

河野博文

宿利忠明

総務文教民生常任委員会（7名）

産業建設まちづくり
常任委員会（7名）

議会運営委員会（6名）



議長就任挨拶

七月の九州北部豪雨により亡くなられた皆様のご冥福と被害に遭われた被災地の皆様へのお見舞いを心から申し上げますとともに、早期の復旧復興を願っております。

五月に臨時議会が開催され、就任致しました。浅学非才ではありますが、信頼される議会を目指して議員全員一丸となり、町民皆様の声が反映できるように珍珠町議会に託された責任と執行部に対しては、是々非々の姿勢で真摯に運営を行って参る決意です。

最後に、町民皆様のご健勝とご多幸を祈念し議長就任のご挨拶と致します。

総務課・基地対策室・税務課・会計課・福祉保健課・住民課・教育委員会・人権同和啓発センター・選挙管理委員会・監査委員の所管に属する事項

まちづくり推進課・環境防災課・農林業振興課・農業委員会・建設水道課・商工観光振興課の所管に属する事項

他の委員会の所管に属さない事項
委員長 大野元秀
副委員長 小幡幸範
委員 中川英則・廣澤俊幸
石井龍文・秦 時雄
河野博文

委員長 中尾 拓
副委員長 松本真由美
委員 松下善法・宿利忠明
高田修治・藤本勝美
繁田弘司

特別委員会構成

基地対策特別委員会（7名）

議会改革特別委員会（7名）

委員長 中川英則
副委員長 高田修治
委員 中尾 拓・大野元秀
宿利忠明・秦 時雄

委員長 石井龍文
副委員長 松下善法
委員 大野元秀・中川英則
藤本勝美・繁田弘司
河野博文

委員長 廣澤俊幸
副委員長 小幡幸範
委員 中尾 拓・松本真由美
宿利忠明・秦 時雄
高田修治



6月議会で決まったこと

会期：6月5日～6月23日

議案 4件

(全)：全員賛成

案 件 名	結果		頁
玖珠町企業立地促進条例の一部を改正する条例について	全	可決	P 5
平成29年度玖珠町一般会計補正予算	全	可決	P 4
平成29年度玖珠町簡易水道特別会計補正予算 人事異動にともなう人件費の補正	全	可決	—
くす星翔中学校建設事業開発造成工事の請負契約について 請負契約を締結したいので提出するものである 契約金額101,660,400円(税込)	全	可決	—

議案撤回 1件

案 件 名	結果		頁
権利の放棄(有限会社ウエストファームに係る債権)	—	—	P 7

請願 1件

請 願 の 要 旨	結果		頁
少人数学級推進・複式解消など定数改善と、義務教育費国庫負担制度2分の1復元および制度の拡充に係る意見書の提出に関する請願書	全	採択	P 4

条例 1件

件 名	結果		頁
玖珠町議会基本条例の制定について	全	可決	P 6

意見書 1件

件 名	結果		頁
少人数学級推進・複式解消など定数改善と、義務教育費国庫負担制度2分の1復元および制度の拡充に係る意見書	全	可決	P 4

平成29年第3回玖珠町議会定例会において、総務文教民生常任委員会に審査の付託を受けました議案1件、請願1件について、6月16日審査した結果を報告します。

日本遺産発信推進事業を重点に 補正予算2364万6千円を可決



平成29年度玖珠町一般会計補正予算

本案は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ二千三百六十四万四千円を追加するものです。

「補正の主な内容」

- ・日本遺産発信推進事業費 一千四百九十八万八千円
- ・その他緊急性の高い必要経費 八百六十五万八千円

「質疑応答」

問 日本遺産推進協議会事業補助金一千四百九十八万八千円の内容について。
答 栖鳳楼眺望再生事業と旅行券発行事業等を含めた分になります。

問 日本遺産推進協議会事業の具体的な中身について。
答 栖鳳楼眺望再生事業は三島公園から栖鳳楼が見えにくいため杉などを伐採するものです。旅行券については耶馬溪へは交通の便が悪いためレンタカーやタクシー利用時の一部を補助するものとなります。

問 日本遺産推進協議会への補助金の中津市側の負担について伺う。
答 中津市は五千万円を計上しています。

【全員賛成】

少人数学級推進・複式解消など定数改善と、義務教育費国庫負担制度2分の1復元および制度の拡充に係る意見書の提出に関する請願書

「請願内容」

1. 子どもたちの教育環境改善のため、少人数学級を推進すること
もに複式学級を解消すること
2. 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元するとともに、制度の拡充を行うこと

【全員賛成】



所管事務調査

久留島武彦記念館の状況調査

4月28日のオープン以降5月末までに約1,480人の入館者があり、PRにはホームページを活用しつつ、全国童話人協会と連携し全国発信に取り組んでいます。今後は10月と年明けに企画展を計画しています。委員より、検討事項としてグラウンドの水はけが悪い点や、駐車場からの坂道に手すりが必要ではないかといった意見ができました。



手すりが必要ではないか？

委員会報告

産業建設 まちづくり

平成29年第3回玖珠町議会定例会において、産業建設まちづくり常任委員会に審査の付託を受けました議案2件について、6月16日審査した結果を報告します。

玖珠町企業立地促進条例の一部を改正する条例

本案は、工業団地立地企業に対する助成措置の重複を防止するため、条例の一部を改正するものです。

【質疑応答】

- 問 町内の既存企業が工業団地に立地する場合も適用になるのか。
- 答 移転で新規の立地と同じ取り扱いになります。
- 問 どのような企業が立地するか、県から報告があったか。
- 答 大阪事務所、東京事務所を通じ様々な企業にアプローチを行っていると同っていますが、具体的な報告はありません。
- 問 助成は、企業の規模、雇用人数などにより決まるのか。また、固定資産税の免除は決めているのか。

答 設備投資の10%一億五千万円を上限に助成、固定資産税の免除は5年間の助成です。雇用については、一人当たり十万元で限度額は五百万円と考えています。

問 町内の小規模企業が工業団地に立地する可能性はあるのか。

答 県の方針として1工区、2工区の方針を考えており、細分化して分譲する考えはありません。条例の字句表現に問題はないか。

問 施行規則で具体的に示すので問題はありません。また、予算の提案するとき要綱等も示し具体的な説明を行います。

問 助成制度は、雇用の創出、定住問題、経済波及効果も視野に入れて検討すべきと考えるが他町村に比べて遜色はないのか。

答 財政的な問題もあり、今の時点ではこの様な助成を考えています。

所管事務調査

工事が進んでいる工業団地の視察



急ピッチで造成中



別会告 員報 特委

基地対策

平成29年第1回玖珠町議会定例会において、基地対策特別委員会に閉会中の継続審査の付託を受けた件について、その結果を報告します。

5月25日、執行部出席のもと委員会を開催しました。

一、日出生地区住民との意見交換会について

九州防衛局・陸上自衛隊西部方面総監・防衛省へ陳情・要望に行くためには日出生地区住民の意見を聞き、考慮するために6月に意見交換会を行うこととしました。

二、要請行動について

日出生地区住民との意見交換会後、関係機関と協議の上、陳情・要望に伺うよう日程調整することとしました。

三、要望書について

日出生台演習場に関係する地域の実態を把握した上で、防衛大綱やSACO予算について研究し、基地対策特

別委員会と執行部との協議の中で決定して行くこととしました。

委員会としては、基地問題の対応について研究・協議し、執行部とともに問題解決に向けて努力することを確認し、本委員会は引き続き継続審査をすることに決しました。



議会改革

平成29年第1回玖珠町議会定例会において、議会改革特別委員会に閉会中の継続審査の付託を受けた件について、その結果を報告します。

議会基本条例(案)の見直し

平成29年3月21日及び4月12日の委員会では、「議会基本条例(案)」と「災害発生時の議会防災マニュアル」の内容確認と字句の見直しを行いました。

6月議会で上程

平成29年5月17日委員会を開催しました。

一、「議会基本条例(案)」と「災害発生時の議会防災マニュアル」の最終確認を行い、6月の議会で上程することとしました。

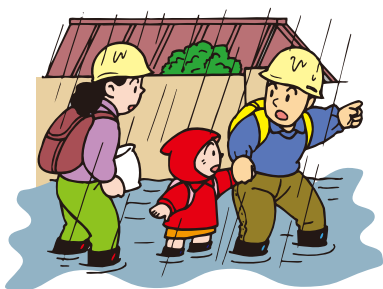
二、「町民との意見交換会」で出された意見については、常任委員会で協議し、8月発行の「議会だより」に記載することとしました。

三、「乾杯条例」については、

5月22日の全員協議会で経過報告を行い、引き続き検討することとしました。

6月議会閉会日に全会一致で「議会基本条例」を可決しました。

委員会としては、議会のあり方について引き続き継続審査することに決しました。



案回 議撤

権利の放棄について（有限会社ウエストファームに係る債権）の議案撤回

権利の放棄について（有限会社ウエストファームに係る債権）

玖珠町が、平成21年7月21日に有限会社ウエストファームに対し貸し付けた四千万円及びこれに対する遅延損害金債権の権利を放棄する議案が本定例会に上程され、議員から多くの質疑が行われました。

答 支払い催促をすると裁判所に異議申し立てとなり、判決に基づき10年間は権利を主張することが出来ませんが、裁判費用や長い時間がかかります。

議案質疑の後、執行部より議案撤回の請求が提出されました。

「議会の判断」

権利の放棄に対し現状では住民への説明責任を十分に果たすことができないと判断し、執行部からの議案撤回請求を全会一致で承認しました。

平成29年7月26日の第4回玖珠町議会臨時会において、訴えの提起について（大規模肥育経営安定事業貸付金に係るもの）の議案が上程されました。

「主な質疑応答」

問 貸付金と遅延損害金を合わせると幾らになるのか。

答 貸付金は四千万円ですが、遅延損害金につきましては1日あたり一万六千円が加算されていくこととなりますので、確定額の記載が出来ない状況になっています。

問 有限会社ウエストファームが廃業に至った経緯を伺う。

答 貸付先の経営状況はチェックしていましたが、繁殖農家から子牛を買って肥育して出荷することが、経営上無理であるという判断のもと廃業されたのではないかと推測しています。

問 裁判を行った場合、債権に対してどのような問題が生じるのか。また、債権の時効が延長されるのか伺う。

「撤回理由」

玖珠町としては、今回の権利の放棄に関し、権利の相手方及び2名の連帯保証人の資産等について、任意で調査を実施し、その結果、相手方及び連帯保証人には弁済資力はなく、支払い督促の手続きでの訴訟等（所有財産の不動産執行等）を実施しても、その執行費用以上の債権回収の見込みない状況と判断し、7月20日に消滅時効の成立を迎えることから、今定例会が最後の機会ということで、議案の上程を決断しました。

しかしながら、調査が玖珠町独自の任意のものであるため、さらなる住民の皆様に対する説明責任を果たせる方策の必要性などについて、改めて考慮した結果、現段階で権利の放棄をすることは、適切でないかと判断したためです。

「上程内容」

有限会社ウエストファーム外2名に対して、未払いとなっている貸付金を請求するための訴えを提起するものです。

「全員賛成」



会の取りまとめについて

総務文教民生常任委員会

1. 中学校跡地の活用

中学校跡地の活用に向け意見を取りまとめるにあたり、民業圧迫とならないことや校舎の改修が必要となる意見を除き、同じような意見を取りまとめた結果「子どもたちの放課後のクラブ活動、住民の憩いの場、文化活動の場、避難場所」としての活用が現実的であると考えられます。また、その他の意見として「住民参加の活用協議会を設置する」事も重要な意見と判断し、以上2点を住民へ報告することに致しました。

2. まちづくりについて

下記の通り意見・要望に対し、執行部からの回答を求めましたので報告致します。

意見・要望	町の回答
<ul style="list-style-type: none">・買い物支援（ガソリンや食品）・タクシー券の格差是正	<ul style="list-style-type: none">・買い物支援については、買う商品の確認や現金を扱うなどの問題点があります。移動販売については、委託業者や運行形態の問題があり、まちづくり推進課を中心に関係課で協議を行っています。・タクシー券についてはまちづくり推進課と協議を行っております。
<ul style="list-style-type: none">・日出生台にオスプレイの誘致	<ul style="list-style-type: none">・オスプレイの誘致は飛行の際の安全性等を考慮し、現在考えておりません。
<ul style="list-style-type: none">・防災無線が全戸使えない	<ul style="list-style-type: none">・具体的に防災無線の使えない場所があれば環境防災課にご相談ください。
<ul style="list-style-type: none">・災害対策が進んでいない・危険地域の点検	<ul style="list-style-type: none">・環境防災課において、毎年6月に玖珠町防災会議・防災パトロールを実施しており、消防団を通じて災害危険個所の提案を受け、状況や現地確認を実施し、危険度判定と関係部署における必要対策を検討しています。
<ul style="list-style-type: none">・統合中学校の野外競技場として使えないか（玖珠中学校）	<ul style="list-style-type: none">・平成31年4月開校予定「くす星翔中学校」の現時点の計画では、現玖珠中学校のグラウンドを活用する予定はありません。なお、統合後の各中学校の跡地の活用（維持管理を含む）については、行政施設としての有効活用や地域の要望などを勘案し別途協議していくことになっております。
<ul style="list-style-type: none">・スクールバスに中・高校生を乗せてほしい	<ul style="list-style-type: none">・新中学校統合後の山浦中学校校区の中学生は全員スクールバスでの登校となる予定です。しかしながら、くす星翔中学校専用のスクールバスであり、高校生の乗車については計画にありません。
<ul style="list-style-type: none">・町中絵本館として各商店街に絵本を貸し出す	<ul style="list-style-type: none">・現在、わらべの館にて団体貸し出しをしております。代表者、設置場所を決めて申し込みして頂ければ、貸し出しは可能です。1ヶ月50冊まで貸し出しています。ご要望があれば、わらべの館にご相談ください。

議会と住民との意見交換

産業建設まちづくり常任委員会

産業建設まちづくり常任委員会に該当する案件（まちづくり・地域づくりでは、65件、中学校の跡地利用20件）を審議しました。

まちづくり・地域づくりについては、早急に取り組むべき課題26件、今後の検討課題21件、将来に向け検討14件、実現が難しい案件4件に区分させて頂きました。

また、中学校の跡地利用の意見は、早急に取り組むべき課題1件、今後の検討課題14件、将来に向け検討5件に区分いたしました。それから、早急に町、地域、議会で協議会等を受け調査、研究を行い早急な取り組みが必要と決めました。

意見・要望	町の回答
・空き家の活用	・自治区全体で移住者の受け入れができないか皆様と共に考えていきたい。
・孫ターン（移住）	・ユニークな考えであり取り組み、情報発信を通して移住促進を図ります。
・畜産の堆肥処理施設	・堆肥処理に要する労力軽減を支援し、増頭につながる施策を検討します。
・鳥獣対策	・既存の制度を継続していきます。
・県道43号線の早期改良	・改良を県に働きかけをします。
・三日月の滝リピーターの確保	・早い時期に取り組む課題で行政として対応中です。
・企業誘致	・積極的な誘致活動が必要であり、県への要請を継続していきます。



一般質問

町政を問う



秦 時雄

「新生児聴覚検査」について!!

問

本町における新生児聴覚検査の受診状況について伺う。

答え（本松福祉保健課長）

平成27年度の確定した実施状況については、出生した新生児は113名、その内、検査実施済みが71名、未実施数は10名、未把握が32名でした。平成28年度より、乳児検診時のカルテにチェック欄を設け、必ずチェックをしています。

問

検査の周知について伺う。

答え（本松福祉保健課長）

平成29年度から県が実施する新生児聴覚検査体制整備事業において、広報を活用して町民に周知します。

問

障がいの早期発見、早期療育を促すため、検査の公費補助について考えを伺う。

（胃がん対策）ピロリ菌検査の促進と助成について!!

問

胃がん患者の約98%はピロリ菌に感染しており、胃がんの最大の原因とされている。平成28年4月に胃がん撲滅のため、「ピロリ菌実施検査」等の署名が（2590名）提出されているが、本町の考えを伺う。

答え（本松福祉保健課長）

本町は胃のX線検査による胃がんの早期発見、早期治療に努めています。

答え（朝倉町長）

ピロリ菌検査の重要性は十分認識しています。町としては、健康診断の受診率の向上を最優先に考え、ピロリ菌等について検討します。

その他の質問

- 一、障がい者就労支援について
- ・障がい者優先調達促進法
- ・（改正）障がい者雇用促進法



小幡 幸範

移住定住の促進について!!

問い

玖珠町における空き家は平成27年の時点で約280軒あるが、空き家や空き店舗を活用するための考えがあるのか伺う。

答え (中島まちづくり推進課長)

空き家については、移住・定住者向けの住宅として活用したいと考えていますが、空き家所有者の理解や移住者を暖かく受け入れるといった地域の理解が必要になります。

問い

平成29年5月26日時点で玖珠郡における求人状況はフルタイムやパートタイム併せて5000人を超える募集となっているが、人材不足や働く場の提供に対して何か対策を考えているのか伺う。

答え (中島まちづくり推進課長) ホームページやフェイスブック等を使って情報発信を行い、U・I・Jターン等による移住・定住を促進することにより、労働力の確保に努めます。

まちひとしごと総合戦略について!!

問い

創生戦略には事業検証を行うことや、積極的に議論や意見収集の場を設けることになっているが、実施できているのか伺う。

答え (衛藤まちづくり推進課総合戦略室長)

これまで計画に対する見直しは行っていないが、実績値の検証を行い、目標値の見直しと具体的な施策を検討し、総合戦略の見直しも検討したいと考えています。

その他の質問

一、観光振興について



中尾 拓

「二元代表制」議会の責務、行政運営を「監視」する観点から質問する!!

問い

三日月の滝公園に職員を配置し、職員給与を出すのが、職員を配置した制度と法的根拠を伺う。

答え (麻生総務課長)

地方公務員法研修の目標、方針の規定に基づいて、派遣先企業との協定により実施しました。身分については「参事」です。

問い

研修は、一般的に職場研内研修、研修所での研修、先進地研修が考えられるが、今回の派遣はどの研修に該当するのか疑問である。

また、研修で配置したとのことですが、何をするのか、目的・戦略が見えませんか。費用対効果は期待できるのか伺う。

答え (朝倉町長)

我が町は、交流人口は増えているが、その人を泊める場所が少なく、三日月の滝公園は環境もよく宿泊施設を整備し、各種サービス

の提供等を考えてもらうため研修に派遣しました。

問い

多くの予算を使って職員を配置しなくても、職員が出向いていけば十分な対応ができると思いますが、見解を伺う。

答え (麻生総務課長)

年間を通じて営業なり運営方法を身に着けることは、意味があると考えています。

問い

短期間(1年間)の研修で本当に効果が上がるか心配している。

職員研修では、目的・戦略も曖昧であり、限界もある。今後視点を変えて制度を充実するなど条例を制定し、研修ではなく賑わいを取り戻す独立採算が見込め、健全経営を目指して職員を派遣する考えはないのか伺う。

答え (麻生総務課長)

企業の営業は企業で最大限努力をして頂き、職員派遣は、ノウハウの獲得、営業のサポート等を行います。また、3月議会でも条例案が成立していれば、今回のような研修ではなく役職としての派遣も可能であったと考えます。

その他の質問

一、今後の町政を司る考えがについて
一、畜産振興について



松下 善法

本町のホームページの現状について!!

問

玖珠町のホームページはカテゴリーはあるものの更新が遅かったり、内容が無いものが多いので改善できないのか伺う。

答え (中島まちづくり推進課長)

ご指摘のあったホームページ内のコンテンツについては、各課に任せており、疎かになっていた部分がありましたので、改めて最新情報への更新を各部署に周知し、上半期を目途に更新作業を実施し情報の精査をします。

特定不妊治療助成事業について!!

問

近年、我が国では晩婚化、晩産化が進行しております。本町に子どもが欲しくて欲しくて、肉体的にも精神的にも、そして経済的に

も負担の大きい不妊治療を受けておられる御夫婦が沢山おられるわけです。国が平成28年度より、不妊治療の助成金が42歳まで、とする年齢制限を設けることが正式に決定しました。43歳以上の方でもお子さんを産みたい方は、沢山いると思います。少子化対策と言っているのに真逆のことを行っている国のやり方に一石投じるくらい町の独自の事業を行う気はないのか伺う。

答え (本松福祉保健課長)

玖珠町も国の方針に沿って現在、特定不妊治療助成を行っておりません。43歳以上に助成するとなると、国・県の補助分も含めるとかなりの額になります。県下の状況を見ながら、今後の検討課題としていきたいと思っています。

その他の質問

- 一、地域資源のブランド化の現状について
- 一、「心の相談」「児童福祉」について
- 一、高齢者認知症対策について



大野 元秀

玖珠町大麦プロジェクトについて!!

問

農産官学連携事業として、玖珠町大麦プロジェクト研究会の本町の役割をどのように考えているのか伺う。

答え (衛藤総合戦略室長)

大麦の産地形成の可能性や大麦を使った商品開発に向けて調査研究を一緒に行っていく考えです。

問

大学生の提案から地域全体で六次産業化の事業へ展開していかうとするプロジェクトに対し、支援を行っていく考えがあるのか伺う。

答え (衛藤総合戦略室長)

一般社団法人全国米麦改良協会に大麦プロジェクト研究会から補助金の申請を行っているところで、町の具体的な支援策については、今後、検討していきます。

新中学校の部活動の選考は!!

問

現在、中学校の部活に無いが、ジュニアのラクビーや「町民スポーツ」として親しまれているホッケー競技があり、小中高の一貫指導体制を確立する為にも、新中学校のスポーツを部活動として取り入れる考えがあるのか伺う。

答え (長尾教育総務課長)

双方の競技団体から創部の要望等がありますが、指導者の確保の問題やグラウンドのスペースの問題等あり、選考されなかった経過があります。学校外の施設の活用や、それに伴う生徒の送迎手段の検討、外部指導者の活用など、協議が必要な部分もある事から、継続審議となっています。

その他の質問

- 一、入札方式について



平成29年度 第17回玖珠郡合同防災訓練

6月9日に玖珠川河川敷にて第17回玖珠郡合同防災訓練が開催され、訓練への参加を行いました。

この訓練は、両町、陸上自衛隊、玖珠警察署、県防災航空隊、地元消防団等、18の機関・団体が参加し集中豪雨や台風等の大規模災害の発生に備え、

- ①地域住民の防災意識の高揚と防災知識・技能の向上
- ②行政、防災関係機関等の災害対処能力の向上と相互の連携強化を行うものであります。



地域編集ユニット
「KUSU NO KOTO (クスノコト)」 主宰

地域おこし協力隊 井上龍貴
電話：080-4315-0521
URL：http://kusunokoto.wixsite.com/kusunokoto



【玖珠町に住んで思うこと】

玖珠町の八幡で生まれ育ち、日田の工業高校を卒業後、大分市の企業へ就職し9年間働いたのち、もともと人との関わり合いがある仕事をと考え転職活動をしていた時期に玖珠町の地域おこし協力隊の募集を見つけました。地元で地域の活性化に繋がる活動が出来ればと思い応募を決意し、昨年の11月に協力隊に着任しました。現在は玖珠町役場の商工観光課に在籍しています。玖珠町に帰ってきて一番感心したことは、子育ての環境がとてもしっかりしている点でした。私自身一児の父であることから保育園や病院などの施設が気になりましたが、玖珠町では保育園の待機児童が一人もおらず、さらに一時預かり期間が3か月間もありその期間内に母親も仕事を探せるので、とても子育てがしやすい環境にあると思います。また、車さえあればどこどこでも行けるコンパクトな町なので、買い物など日常生活にも全く不自由がありません。

【玖珠町に望むこと】

私は来年の10月から開催される「国民文化祭・おおいた2018」で玖珠町の実行委員を務めています。会期中に玖珠町の文化や歴史を現代アートなどの芸術と交わらせたアートプロジェクトの開催を目指しています。そのため地域編集ユニット「KUSUNO KOTO」を立ち上げ地域内で様々な活動を実施し、昨年からはアートマネジメントの講習を受け、来年の会期前に事前のプロジェクトとして一つの企画を豊

【今やっている仕事、今後の抱負】

町内に町民や町外から来られた方が気軽に立ち寄るスポットがあまり見当たらないため、「食」を通じて人が行きかう「場づくり」が出来ないか考え、月曜日限定のカレー屋台「カレーライス月曜日」の開店準備を始めています。7月にPRの屋台制作費用の調達のため別府市での出張営業を実施し、8月から大分市の建築家さんと大分大学の学生さんと一緒に屋台の制作を予定しています。順調にいけば9月中にはオープン出来ると思いますので、みなさんぜひ食へに来てください。



6月議会の傍聴者数は、29人です。議会の傍聴におこしください。次回の定例会は9月です。

「議会広報特別委員会」

- 委員長 宿利 忠明
- 編集長 松本真由美
- 委員 中尾 拓
- 委員 大野 元秀
- 委員 小幡 幸範
- 委員 松下 善法
- 委員 廣澤 俊幸

編集後記

九州北部豪雨により被害に遭われた皆様の早期復旧・復興を願っています。

